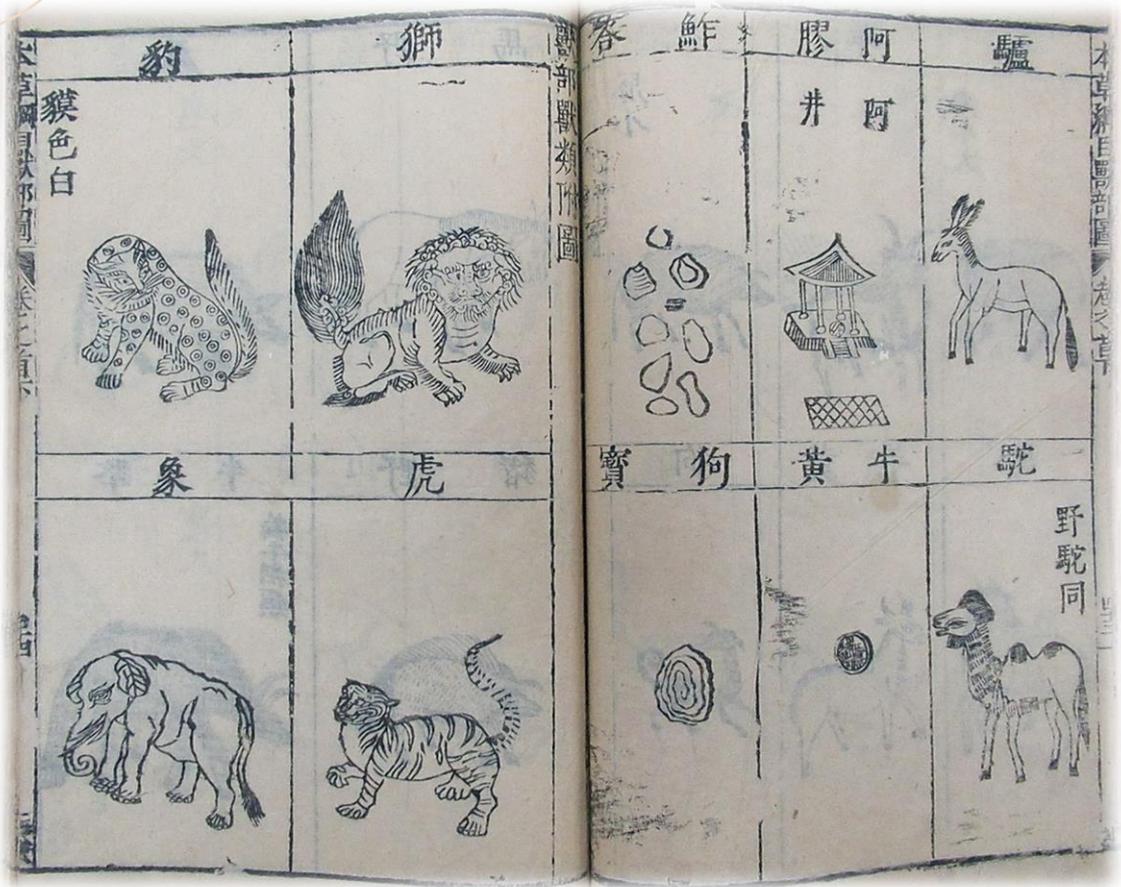


立正大学

古書資料館通信

Vol.13



『本草綱目』図下

目次

貞松文庫について (4) A86~A89の資料紹介.....	1 頁
『帝鑑図説』について.....	1 頁
『新刻京本按鑑演義合像三国志伝』について.....	2 頁
『本草綱目』について.....	3 頁
貞松文庫 簡易目録 A86~89.....	5 頁
注.....	7 頁
表紙資料紹介.....	7 頁

立正大学図書館略史 (品川キャンパス) ——古書資料館前史として 第13回

前号では A81～A84 に見られる貞松文庫の資料を紹介しました。今号では、A86～A89 の簡易目録を掲載し、その中から 3 点の資料を取り上げて解説します。なお A85 には貞松文庫の資料は含まれていません。

貞松文庫について (4) A86～A89 の資料紹介

貞松文庫の A86～A89 の中には、現在、貴重書として登録されている資料が 2 点あります。それは、A86/1 の『帝鑑図説』と、A86/3 の『新刻京本按鑑演義合像三国志伝』です。まず『帝鑑図説』から見ていきましょう。

〈『帝鑑図説』について〉

『帝鑑図説』は、明朝末期に 10 歳で即位した万暦帝 (1573～1620) のため、古代から宋代までの帝王の逸話をまとめた著作です。前集では善事を、後集では悪事を取り上げ、挿絵とともに解説を付しています。日本で刊行された早い例には秀頼版があります。秀頼版は、豊臣秀頼が慶長 11 年 (1606) に明版をもとに作らせたものとされています¹。挿絵部分は整版ですが、文字部分は木活字を用いた古活字版です。

秀頼版には、西笑承兌 (1548～1607) の跋文のあるものとないものがあります。この有跋本と無跋本は同版とされますが、これに対して別の活字を用いた別版の存在が知られています。有跋本・無跋本と別版は同一の工房で作られたと考えられています²。それは、有跋本 (無跋本) を作る際に刷った丁が別版本に用いられているためです。

A86/1 の『帝鑑図説』は前集のみで後集を欠いていますが、先に述べた別版に相当する本です。無跋本

である国会図書館本 (請求記号 WA7-9) と見比べると、明らかに文字の形が異なります。ただし、A86/1 にも無跋本と同じ刷りの丁があります。それは、前集の 125 丁です (図 1-2)。なお、同じ別版本でも、有跋本 (無跋本) の丁が見られる箇所は異なるようです³。

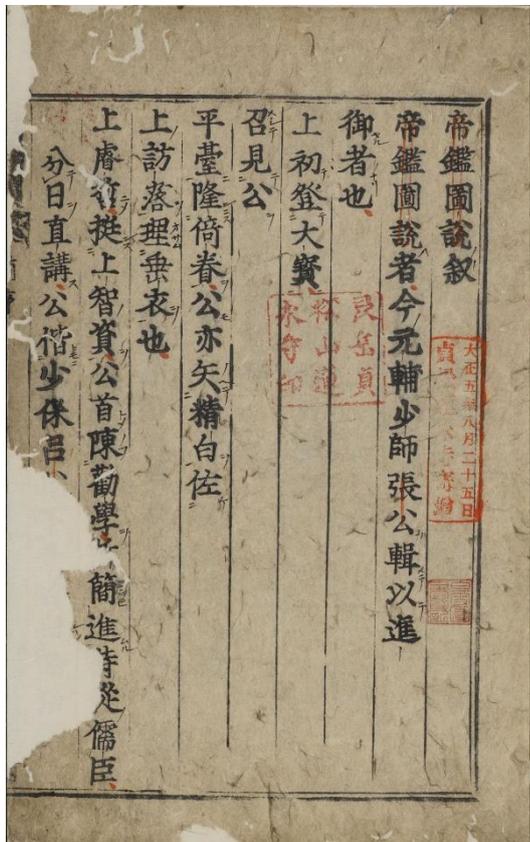
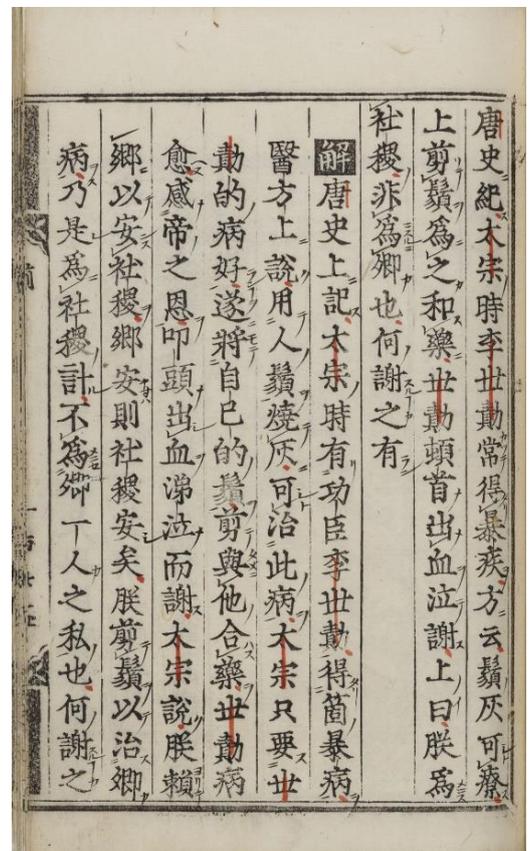


図1

1. 序文冒頭

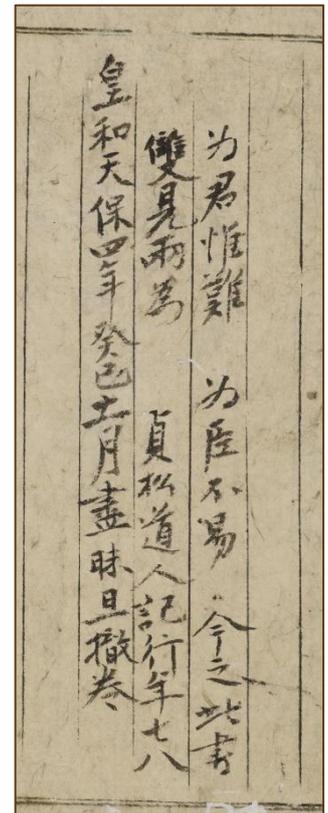


2. 125 丁

訓点などは書入れ。

A86/1には「白雪園／書画記」(図2-1)と「北原居／蔵書記」(図2-2)という蔵書印が見られますが、印の持ち主については不明です。また、第4冊の末尾には「為君惟難 為臣不易 今之此書／双見両為 貞松道人記行年七八／皇和天保四年癸巳十一月尽味旦撤卷」という識語が見られます(図2-3)。「為君難、為臣不易」は『論語』にも引かれることわざで、君主となることは難しく、臣下となるのも簡単でないという意味です。「今之此書双見両為」は、この『帝鑑図説』が、君主と臣下、両方のためになる書だという意味に解釈できます。この識語を記載した「貞松道人」は、天保4年(1833)年11月末日の早朝に『帝鑑図説』前編を通読したと記しています。この「貞松道人」の当時の年齢は56歳(七×八)であったことが分かります。天保4年時点の蓮永寺の住職は、たびたび取り上げている福寿院日富でした。日富は、天保4年にちょうど56歳だったため、「貞松道人」は日富を指すと推定されます。A86/1は、前集115丁に落丁があり、その部分が補写されていますが、これも日富の手による可能性が高いでしょう。

図2

1. 「白雪園／書画記」
1.4×1.4cm2. 「北原居／蔵書記」
4.2×3.0cm

3. 「貞松道人」の識語

『新刻京本按鑑演義合像三国志伝』について

次に、『新刻京本按鑑演義合像三国志伝』(しんこくきょうほんあかんえんぎごう ざうざんしんごくしんでん)を見ていきます。これは、本通信の11号の表紙にも使用した資料で、いわゆる三国志演義の版本の一つになります。序末に「峇／万曆庚戌歳孟秋 穀旦／白鹿洞逸士歐陽濱／書於／羅氏勤有堂」(図3-1)、巻頭に「閩 勤有堂 羅端源 梓」(図3-2)とあることから、万曆38年(1610)に、閩(福建)の勤有堂(羅端源)より刊行された明版であることが分かります。『中国古籍版刻辞典』を見ると、嘉靖年間(1522～1566)に活動した書肆として、羅氏の勤有堂の記載があります⁴。時期は多少ずれますが、おそらく同一の書肆で

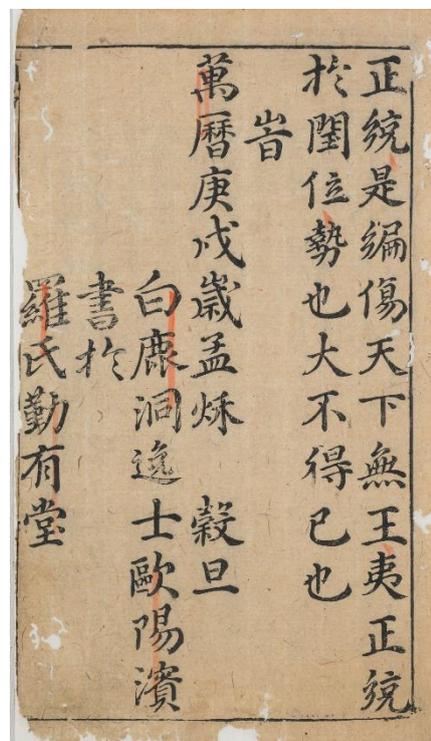


図3

1. 序末



2. 巻之1、巻頭

しょう。なお、内閣文庫蔵(昌平坂学問所旧蔵)の『元亨療馬集』(げんこうりょうましゅう (請求記号304-0262)にも「勤有堂羅端源梓」の記載があるので⁵、両書は同じ書肆から刊行されたことが分かります。

A86/3の表紙を見ると、「檀越岸本県令福寿増長」(第4・5冊)、「檀越岸本県令福智円満」(第8冊)と朱書きされたものがあります(図4参照)。「檀越」は檀家のことです。「県令」は代官を指します。つまり、これらの書入れは、蓮永寺の檀家である岸本代官の幸福を願い、その福德や智慧をたたえた文句となります。

この岸本代官ですが、天保2年(1831)から同9年(1838)に駿府代官を務めた岸本莊美(十輔)を指していると考えられます。莊美の墓は蓮永寺にあり、生前は同寺に対して、かなりの寄付を行っていたようです。貞松文庫の『仏説秘密儀軌衆法経総目』(A20/78)には、天保7年(1836)に日富が記した「岸本県令」(莊美)の喜捨についての印文が見られます⁶。それによると莊美は、金銭や大蔵経三千巻を蓮永寺に寄付し、建物を復興し、金銅七寸の誕生仏や木像の三十番神を建立したようです。蓮永寺は安永3年(1774)に一度火災に遭っており、莊美が駿府代官だった頃でも、すべての建物が再建されていなかったと考えられます。そのため、莊美が資金を援助したのでしょう。

A86/3は、莊美が蓮永寺に寄付した蔵書だったか、莊美の寄付した金銭で購入した本だった可能性があります。なお、「檀越岸本県令福寿増長」と同じような書入れが見られる貞松文庫の蔵書はA86/3だけでなく、他にも複数確認できます⁷。

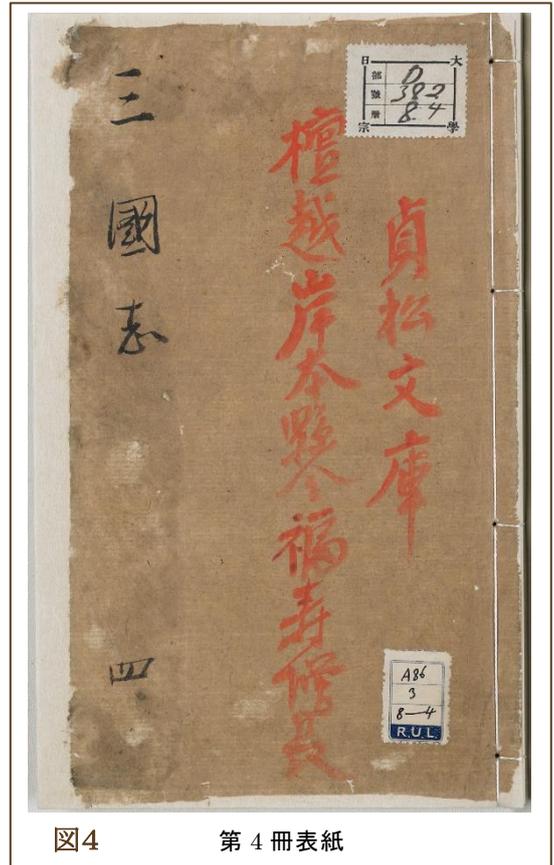


図4 第4冊表紙

『本草綱目』について

最後に、A87/17の『本草綱目』を取り上げます。『本草綱目』は、動植物や鉱物などについて解説した本草学の研究書です。明の李時珍の著作で、万暦24年(1596)に中国で刊行されました。日本でも多く読まれ、和刻本が多数出版されています。

A87/17は、第35・48・49の3巻を欠く唐本の取り合わせ本です。図巻上から第9巻までの9冊と、第15・16巻の2冊は、万暦31年(1603)に刊行された江西版と推定されます⁸。江西版には3つの序文と季建元の「進本草綱目疏」が見られますが、伝本によってその順番が異なります。A87/17には、張鼎思の万暦31年序(図5)、夏良心の序、王世貞の万暦18年(1590)序、「進本草綱目疏」の順番で掲載されています。これは、内閣文庫本の江西版(請求記号304・300)と同じ並びです。

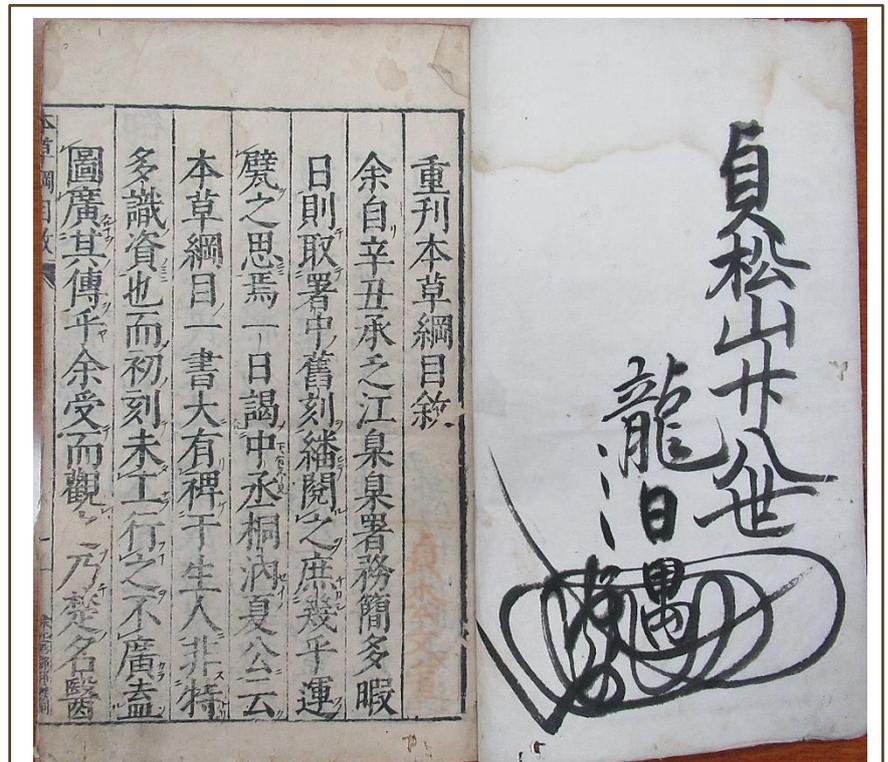


図5

図巻上の見返しと万暦31年(1603)序見返しに「貞松山廿八世／龍日遇[花押]」の識語がある。日遇は後の日富のこと。同様の識語は第1巻上や第7巻にも見られる。

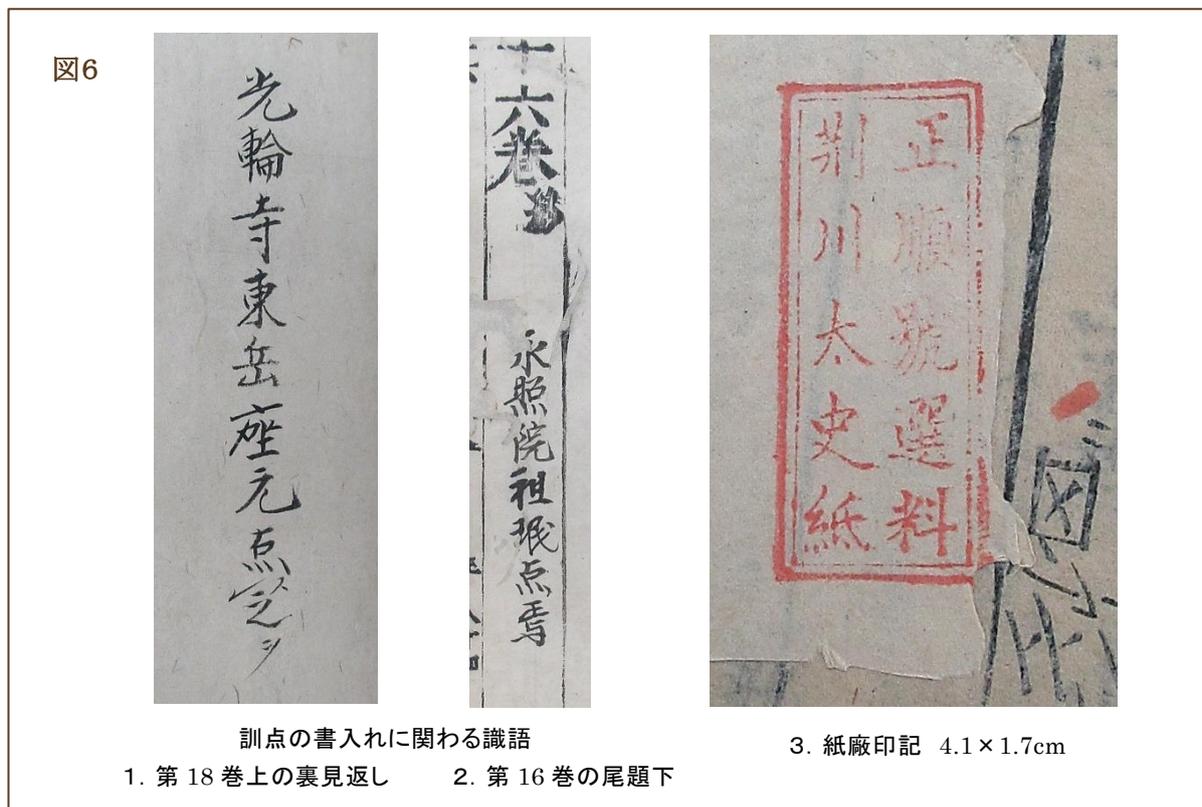
A87/17 は刷りの状態があまりよくなく、版心下部に記された刻工名などはかなり読みづらくなっています。特に、第15・16巻の2冊は刷りが悪く、他の9冊よりも後に刷られたものと考えられます。この2冊は、大きさも26.7×17.4cmと、他と比べて縦が1cm、横が5mmほど小さく、料紙も異なります。同じ江西版ではありますが、第15・16巻の2冊も取り合わせられたもののようです。

江西版9冊に対し、残りの28冊は江西版の覆刻本になります。江西版は、図2巻を2冊にまとめていますが、覆刻本では、各巻の目録の後に図を挿入している他、版心下部の刻工名などの記載がほとんどありません。内閣文庫の所蔵本の中では、請求記号304-301が同版だと考えられます。

A87/17の本文には訓点などが書き入れられていますが、その訓点と関わる識語が二つあります。一つは「光輪寺東岳座元点^{スレ}之^ヲ」(図6-1)、もう一つは「永照院祖珉点^焉」(図6-2)です。「座元」は長老(住持)の次の位にあたる禅宗の僧職だと考えられます。だとすれば、光輪寺は禅宗の寺院のはずです。「祖珉」という名も禅宗の僧侶かもしれません。江戸期の伊勢に、光輪寺という臨濟宗の寺があったようですが、祖珉との関わりを含め、詳細は不明です。いずれにしろ、A87/17には、蓮永寺の手に渡る前から訓点が施されていたことが分かります。

蔵書印は、貞松文庫のもの以外は押されていません。ただし、第4巻上の最終丁の内側に「正順号選料／荊川太史紙」(図6-3)という印が押された紙片が貼りつけられています(下図参照)。これは中国で、紙が生産された時に押される製紙場の印で、蔵書印とは別に「紙廠印記」と呼ばれるものです。「〇〇号選料／荊川太史紙」のような印記は清代に見られるもののようです⁹。第4巻上は万暦31年(1603)の江西版ではありますが、明末でなく、清代に入ってから刷りと推定されます。なお、「正順号選料／荊川太史紙」の印は、内閣文庫本『笑府』にも押されていることが指摘されています¹⁰。

ところで、序文を含む図巻上の1冊は、請求記号がA87/17ではなく、499.9/R 32/1となっています。A87/17の図巻上の所在は不明となっていました。事故本の中の1冊がA87/17の図巻上に当たるものでした。事故本とは、以前に登録されていたものが、何らかの原因で登録を外れた資料になります。499.9/R 32/1という請求記号は、近年、新たに登録し直された際に付けられたものです。A87/17と499.9/R 32/1には、ともに「日遇」(後の日富)の識語が見られ(図5)、書型なども共通します。この図巻上が、事故本となっていた理由は不明です。



〈貞松文庫 簡易目録 A86~89〉

◇版本

- A86/1 帝鑑図説 前編 4 卷 (後編 2 卷欠) / (明) 張居正・(明) 呂調陽 [撰]。4 冊 (大)。古活字版。【良】【寄】
- A86/6 孝經列伝 / (明) 胡時化 編集, (明) 陳文慶 繪。5 冊 (大)。【寄】
- A86/7 宋朱晦庵先生名臣言行録 前集 10 卷後集 14 卷 / (宋) 朱熹纂 輯, (宋) 李衡 校正, (明) 張采 評閱。6 冊 (大)。[京、村上勘兵衛]、寛文 7 年 [刊]。風月莊左衛門 [後印]。【寄】
- A86/9 読史論略詳註 / (清) 杜詔 撰, (清) 唐桂 註。1 冊 (大)。文化 8 年 (1825)。陽州園藏版。【寄】
- A86/10 清名家小伝 4 卷 / 村瀬誨輔 哀集。4 冊 (半)。文政 2 年 (1819) 序 [刊]。江戸、和泉屋金右衛門 (他 3 書肆) [印]。【貞】【寄】
- A86/11 標題徐状元補注蒙求 3 卷 / (唐) 李瀚 纂, (宋) 徐子光 補注, (日本) 岡白駒 箋註。3 冊 (大)。京、森嶋吉兵衛 (他 8 書肆)、寛政 4 年 (1792) 再刻。【寄】
- A86/13 史記評林 130 卷首 2 卷 / (明) 凌稚隆 輯校, (明) 李光縉 增補。25 冊 (大)。明和 7 年 (1770) 刊。大坂、柳原喜兵衛 (他 2 書肆)、天明 9 年 (1789) 印。【貞】【寄】。
- A86/14 紀元彙 / 羽倉用九 (簡堂) 甫輯。1 冊 (半)。駿府、鉄屋十兵衛、文政 7 年 (1824)。近世木活字本。【貞】【寄】
- A86/19 蒙求拾遺 3 卷 / [大]江広保 輯。3 冊 (大)。江戸、小林新兵衛、宝暦 2 年 (1752)。【寄】
- A86/20 癸未紀行 / 夕顔術道春 (林羅山) [著]。1 冊 (半)。[京]、風月宗智、正保 2 年 (1645)。【寄】
- A86/22 漢書評林 100 卷首 1 卷 (卷 29, 30, 87 下・89 欠) / (明) 凌稚隆 輯校, (日本) 玄朴 訓点。48 冊 (大)。[京]、林和泉掾、明暦 3 年 (1657) 刊。同 4 年 [修]。【良】【寄】
- A86/24 鼎鏗趙田了几袁先生編纂古本歴史大方綱鑑補 39 卷首 1 卷 (首卷欠) / (明) 袁黄 編纂, (日本) 鶴[飼]信之 訓点。39 冊 (大)。[京]、野田庄右衛門、寛文 3 年 (1663) [後印]。【寄】
- A86/64 増補華夷通商考 5 卷 / 西川求林斎 (如見) 輯。5 冊 (半)。京、梅村弥右衛門・古河三郎兵衛、宝永 5 年 (1708)。【良】【寄】
- A86/96 唐才子伝 10 卷 / (元) 辛文房 撰。5 冊 (大)。[京]、上村次郎衛門、正保 4 年 (1647)。【良】【寄】
- A87/1 新刊黄帝内経壺枢 24 卷 / (宋) 史崧 音釈。6 冊 (大)。【寄】
- A87/2 重広補註黄帝内経素問 24 卷 / (唐) 王水 註, (宋) 林億 [他] 奉勅校正, (日本) 吉弘玄仍 [訓点]。11 冊 (大)。寛文 3 年 (1663) 跋。【寄】。
- A87/3 新編医学正伝 (医家七部書の内) / (明) 虞搏 編集。1 冊 (大)。京、吉野屋徳兵衛、元禄 13 年 (1700)。【寄】
- A87/4 格致余論 / (金) 朱彦修 撰。1 冊 (大)。京、林甚右衛門、慶安元年 (1648)。【寄】
- A87/5 新刊明医雑著 / (明) 王綸 著。1 冊 (大)。正保 2 年 (1645) 刊。[京]、中野小左衛門 [印]。【良】【寄】
- A87/6 食物本草 7 卷 日用本草 3 卷 / (元) 李杲 編輯, (明) 錢允治 校訂。1 冊 (大)。京、山屋治右衛門、慶安 4 年 (1651)。【貞】【寄】
- A87/7 神相全編正義 3 卷 / (宋) 陳凶南 (陳搏) 秘伝, (明) 袁忠徹 訂正, (日本) 石龍子 改誤, (日本) 石孝安 訓点。3 冊 (大)。京、梅村三郎兵衛 [他 3 書肆]、文化 4 年 (1807)。【良】【寄】
- A87/9 新刊万病回春 8 卷 / (明) 龔廷賢 編輯。8 冊 (大)。【寄】
- A87/10 運氣論奥疏鈔 10 卷 / 松下見林 著。10 冊 (大)。寛文 5 年 (1665) 序。【貞】【寄】
- A87/11 新刊素問入式運氣論奥 / (宋) 劉温舒 撰。1 冊 (大)。京、田原二左衛門。【貞】【寄】
- A87/12 有象列仙全伝 9 卷 / (明) 王世貞 輯次, (明) 汪雲鵬 校・輯補。合 2 冊 (大)。慶安 3 年 (1650) 刊。大坂、柳原喜兵衛 (他 3 書肆)、寛政 3 年 (1791) [印]。【良】【寄】
- A87/13 列仙伝 2 卷 / (漢) 劉向 撰。1 冊 (大)。尾張、永楽屋東四郎 (他 2 書肆)、寛政 6 年 (1794) [印]。【良】【寄】
- A87/14 山海経 18 卷 / (晋) 郭璞 伝, (明) 蔣応鎬 繪図。7 冊 (大)。【良】
- A87/16 本草綱目纂疏 2 卷 / 曾槃 考輯。2 冊 (大)。享和 2 年 (1802) 序。【貞】【寄】
- A87/95 本草匯 18 卷首 1 卷図末 1 卷 (卷 18 欠) / (清) 郭佩蘭 纂輯。19 冊 (半)。[元禄 6 年 (1693) 刊]。【貞 (墨)】【寄】
- A88/2 諸葛孔明異伝兵法註解評林 7 卷 / (明) 章嬰 註, (明) 王士驥 定, (明) 薛棻 評, 李静修 較。2 冊 (大)。[江戸]、中野仁兵衛・中野仁兵衛、万治 4 年 (1661)。【貞】【寄】
- A88/3 相法染指 3 卷 / 智光房良海 撰。1 冊 (大)。江戸、蔦屋重三郎、天明 5 年 (1785)。【貞】【寄】

- A88/5 聚類参考梅花心易掌中指南 5卷(卷5欠) / 馬場信武 述。4冊(半)。【貞】【寄】
- A88/7 篆書七言律 / 龍湖 墨妙。1冊(大)。江戸、須原屋平左衛門、寛延2年(1749)。【寄】
- A88/8 紫薇字樣 2卷 / [細井]広沢 述。2冊(大)。[京、茨城多左衛門、享保9年(1724)刊]。尚古堂[印]。【寄】
- A88/10 周易占法指掌大成 9卷 / 馬場信武 述。5冊(大)。大坂、井野佐吉・浅野弥兵衛、寛延3年(1750)。【寄】
- A88/11 大増益頭書新撰陰陽八卦鈔 1冊(半)。大坂、毛利田庄太郎、享保6年(1721)。【寄】
- A88/13 篆書千文 / 修来 書。1冊(大)。京、菱屋次兵衛、寛保2年(1742)。土橋伝右衛門蔵板。【寄】
- A88/14 [長雄新書学手本] / [長雄]耕陶 [書]。1冊(大)。大坂、加賀屋善藏、天明7年(1787)。【寄】
- A88/15 艸書要領 5卷(存卷1~2) / (唐)虞世南等 集, (晋)王羲之 書。1冊(大)。【良】【寄】
- A88/16 艸篆銘 / 烏石山人 書。1冊(大)。京、藤屋武兵衛、寛保3年(1743)。【寄】
- A88/25 周髀算經図解 2卷 / 川辺信一 著。5冊(大)。尾張、片野(永楽屋)東四郎(他4書肆)、天明6年(1786)。【貞】【寄】
- A88/26 唐土訓蒙図彙 14卷序1卷総目1卷(序, 卷1, 4, 5, 9, 13欠) / 平住専庵 選次, 檜村有税子 図画。10冊(大)。大坂、大野木(秋田屋)市兵衛(他1書肆)、享保4年(1719)。【良】
- A89/1 經典釈文 30卷 / (唐)陸徳明 撰。24冊(大)。江戸、慶元堂(和泉屋庄次郎)、享和元年(1801)[刊]、文化6年(1809)[印]。【貞】
- A89/2 經典釈文攷証 30卷 / (清)盧文弨 綴輯。6冊(大)。江戸、和泉屋庄次郎、文化6年(1809)。【貞】【寄】
- A89/3 五雜俎 16卷 / (明)謝肇淛 著。8冊(半)。寛文元年(1661)刊、寛政7年(1795)修。江戸、須原屋茂兵衛、大坂、秋田屋太右衛門、文政7年(1824)[印]。【寄】
- A89/5 李卓吾批点世説新語補 20卷 / (宋)劉義慶 撰, (明)何良俊 増, (明)李贄 批点(大)。京、林九兵衛、元禄5年(1692)。【寄】
- A89/7 改正多識編 5卷 / [林羅山 著]。合2冊(大)。無刊記。【寄】
- A89/8 新編古今事類全書 雜集 2卷 / 1冊(大)。京、紀伊国屋源兵衛、延宝6年(1678)。【寄】
- A89/9 新刊古今類書纂要 12卷(卷11, 12欠) / (明)璩崑玉 纂集, (明)葉文懋 校閱。5冊(大)。【寄】
- A89/10 新刻事物紀原 10卷目録 2卷 / [(宋)高承 撰]。 (明)胡文煥 校正。11冊(大)。
- A89/11 分類合璧図像句解君臣故事 3卷(卷1存) / 1冊(大)。【貞】【寄】
- A89/11 有象列仙全伝 9卷(卷1, 3欠) / (明)王世貞 輯次, (明)汪雲鵬 校・輯補。7冊(大)。京、藤田庄右衛門、慶安3年(1650)。【貞】【寄】
- A89/13 世説新語補考 2卷 / (日本)桃[井]源蔵 著。2冊(大)。京、風月庄左衛門(他2書肆)、宝暦12年(1762)。【寄】
- A89/14 世説音釈 10卷 / (日本)恩田仲任 輯, (日本)礪谷正卿 校, (日本)岡田守常 再校。5冊(大)。尾張、片野(永楽屋)東四郎(他6書肆)、文化13年(1816)。【良】【寄】
- A89/15 棠陰比事 3卷 / (宋)桂万榮 編集, (元)田沢 校正。3冊(大)。無刊記。【書】
- A89/16 新刻釈名 8卷 / (漢)劉熙 撰, (明)畢效欽 校。1冊(大)。京、小嶋弥左衛門、明暦2年(1656)。【寄】
- A89/17 新鐫増補較正寅幾熊先生尺牘双 9卷 / (明)熊寅幾 [編]。2冊(大)。[中野市右衛門、承応3年(1654)]。【貞】
- A89/24 朱氏談綺 3卷 / 安積澹泊 [編]。4冊(半)。京、茨城多左衛門、宝永5年(1708)刊、正徳3年(1713)[印]。【貞】【寄】

◇唐本

- A86/2 丹桂籍 4卷首1卷末1卷続1卷 / (明)顔正 [輯], (清)趙松一 [重校]。4冊。25.7×16.4 糎。諸同人、乾隆14年(1749)。【寄】
- A86/3** 新刻京本按鑑演義合像三国志伝 20卷 / (晋)陳壽 著。8冊。24.0×14.6 糎。閩、勤有堂羅端源、万暦38年(1610)序刊。【寄】
- A87/15 新刻黄掌綸先生評訂神仙鑑 22卷首1卷(首卷欠) / (清)徐衡 述, (清)程毓奇 続。23冊。25.5×16.3 糎。【寄】
- A87/17、499.9/R 32/1** 本草綱目 52卷図 2卷(第35, 48-49卷欠) / (明)李時珍 編輯。37冊。27.8×17.0 糎。万暦31年(1603)序。取り合わせ本。【貞】【寄】
- A89/18 林子(林子全集) / [(明)林兆恩 著]。60冊。25.6×15.4 糎。万暦34年(1606)序。【良】
- A89/19-23, 25, 26 新編古今事文類聚 前集 60 後集 50 卷続集 28 卷別集 32 卷新集 36 卷外集 10 卷遺集 15 卷目録 7

卷 / (宋) 祝穆 編, (元) 富大用 編 (外集・新集), (元) 祝淵 編 (遺集)。80冊。25.9×16.3 ㎝。金陵、唐富春 (徳寿堂)、万暦 32 年 (1604) 序。【真】【安】【寄】

◇写本

A89/4 博覧古言 10 卷 / [菅原為長 編]。2 冊 (大)。徳閑堂、文政 12 年 (1829) [写]。【書】

* 基本的に旧漢字・異体字は通行の字体へと変更。「版本」「唐本」の資料は、「古活字版」「近世木活字本」などの記載がないものはすべて整版本の袋綴じ。

* 唐本を除き、冊数の後の (大) は大本、(半) は半紙本、(中) は中本、(横中) は横中本を指す。

* 【 】 の記号の意味は以下の通り。【真】 → 「貞松文庫」朱印。【貞 (黒)】 → 「貞松文庫」墨印。【良】 → 「良岳貞松山蓮永寺印」印。【安】 → 「貞松山安置」印。【真】 → 「駿河国府法華道場貞松山蓮永寺真章」印。【寄】 → 寄贈印。【書】 → 蓮永寺の印や寄贈印はないが、「貞松文庫」などの書き入れがあるもの。【原】 → 原簿以外に蓮永寺の寄贈本である情報がないもの。

* A89/10 は表紙に貼られた貼紙の形状から貞松文庫の資料と推定。

注

1. 秀頼版に見られる西笑承兌の跋文によるが、秀頼の命による制作という点について疑問も呈されている。高木浩明「古活字版『帝鑑図説』再考—『帝鑑図説』は本当に〈秀頼版〉か」(井上泰至編『資料論がひらく軍記・合戦図の世界』勉誠出版、2021年)。
2. 注 1 高木論文、154 頁。
3. 五十嵐金三郎「『帝鑑図説』異植字版小考」(『参考図書研究』32、1986年10月)、11 頁。注 1 高木論文、154 頁。
4. 瞿冕良編著『中国古籍版刻辞典 増訂本』(苏州大学出版社、2009年)、「明嘉靖間一書坊名。主人羅氏」(889 頁)。引用文は簡体字に改めた。
5. 「国立公文書館デジタルアーカイブ」(<https://www.digital.archives.go.jp/img/4774031>) で確認。
6. 印文は以下の通り。「当山受法檀越畧令岸本氏嗜儉素喜捨／黄金運送大藏經三千卷当山藏經方全／備且再興祖同殿重閣全樓又鑄金銅／七寸誕生仏又雕立像三十番神冀武運／長久子孫榮昌福壽增長知徳円満者／天保七年五月如意珠日貞松山蓮永寺日富識」。
7. 小此木敏明「古書資料館の蔵書(8) 岸本莊美と貞松山蓮永寺」(『日本古書通信』84(7)、2019年7月) 参照。
8. 江西本については、白鷗漁史「本草綱目の版種」(『医学図書館』8巻5号、1961年)、中里竜瑛「本草綱目の版種(つづき)」(『医学図書館』9巻6号、1962年) を参照。
9. 張寶三「清代中文善本古籍中所鈐紙廠印研究」(『台大中文学報』39、2012年12月)。
10. 荒尾禎秀・玉鼎「墨齋編『笑府』の新出本について」(『東京学芸大学紀要 1 人文社会科学系』57、2006年1月)、2 頁。

* 漢字表記については、書入れなどの引用の場合でも、旧漢字や異体字を通用の漢字に改めた。

立正大学古書資料館専門員 小此木敏明



表紙資料紹介

本草綱目 52 巻図 2 巻 (第 35, 48-49 巻欠) A87/17、499.9/R 32/1

(明) 李時珍 編輯。37 冊。27.8×17.0cm。

動植物や鉱物などについて解説した本草学の研究書。表紙には図巻下の獣部の挿絵を使用。同書の詳細は本号の「『本草綱目』について」を参照。



立正大学古書資料館通信

第13号

令和4年3月31日発行

編集・発行 立正大学図書館 品川学術情報課

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

TEL : 03-3492-6615

HP : <http://www.ris.ac.jp/library/>